

未来の富田林をあなたと描く市民会議

“Mira-ton”

News Letter

vol. 1

H28 7/22(金)
発行



「地域の魅力と課題を集める」をテーマに話し合いました！

◆第1回 市民会議 “Mira-ton” を開催しました！

富田林市では、平成 29 年度からの 10 年間のまちづくりの指針となる、「新たな総合ビジョン」の策定に取り組んでいます。

そこで、「未来の富田林」について市民の皆さんと一緒に考える「市民会議 “Mira-ton”」を開催しました。



第1回 “Mira-ton” は、7月 17 日（日）、市民、大阪大谷大学の学生、市の職員、合わせて 63 名の参加者が集まり、ワークショップ形式でスタート。ときに真剣に、ときに和やかに、富田林市の魅力と課題について、熱い想いや活発な意見が交わされました。

ワークショップ(Workshop)とは

一般に、「複数の人が集まり、コミュニケーションをとり、共に何かをつくりあげていくこと」を言います。



次回は…平成 28 年 7 月 31 日（日）

◆ 10 年後の富田林市の将来像をみんなで考えます！

◆第1回の流れ

1

グループに分かれ、思いついた魅力と課題を付箋に書き出し、グループで共有しました。



2

共通している意見をまとめ、グループ化してタイトルをつけました。



3

グループごとに、全体に向けて話し合いの成果を発表しました。



◆集まった主な魅力と課題

子育て・教育の魅力

- 保育園や学童保育が充実している
- 子育て世代に優しい など

健康・医療・福祉・多文化共生・人権の魅力

- 近隣市に比べ福祉が充実している
- 病院が充実している など

環境・防犯防災・交通などの魅力

- 自然が豊かで、都市部が近い
- 災害が少ない など

産業・経済・地域活性化などの魅力

- 自然と歴史に関する観光資源が多い
- 地域コミュニティが活発 など

子育て・教育の課題

- 人口の減少で子どもが少ない
- 子どもたちの遊び場が少ない など

健康・医療・福祉・多文化共生・人権の課題

- 高齢者向けの施設が駅近くにない
- あいさつなどの交流が少ない など

環境・防犯防災・交通などの課題

- 市内の東西間のアクセスが弱い
- 治安に不安がある など

産業・経済・地域活性化などの課題

- 働く場所が少ない
- 買い物をする場所が少ない など